



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

子どもたちが創り上げた「みなみんピック」

学校長 山崎 薫

10月26日の早朝、夜半から降っていた雨は上がり、ゆめが丘の駅のホームからは、去年は雪が降らないと話題になっていた富士山の5合目くらいまで雪化粧しているのが見えました。この日は、「みなみんピック」の第一日。グラウンドはまだぬかるんでいましたが、天気のリcovery予報を受け、3・4校時に実施することとしました。何とか運動関係の行事を実施したいという思いで企画しましたが、数少ない事前の練習のとき、子どもたちのたくさんの歓声が聞こえてきたことで救われたというのが今回の行事の始まりに私が感じたことでした。

朝、放送での開会式。実行委員会の司会でスローガンや各係の紹介、委員長から意気込みの発表があり、3日間に及ぶ分散形式のイベントが始まりました。グラウンドから校舎3階を見ると、スローガンが掲げられ、子どもたちの頑張りにエールを送っているようでした。初日は中学年の出場でした。徒競走ではコーナーを初めて走る3年生に、4年生も運営で参加した6年生も、拍手や手製のマラカスで応援しました。4年生は一段と力強い走りを見せてくれました。レースを終えて自席に戻る子どもたちの首には手作りの金銀銅のメダルがかかっていました。5・6年生が全員分作ってくれたものです。「みなみんピックだからメダルを作ろう。」という子どもの思いが生かされ形になりました。団体種目は大玉を使った競技でした。3年生はフラフープくぐりと、4年生はタワーボールのシュートと組み合わせ、楽しみながら参加できました。

6年生の動きも素晴らしかったです。6年生は中、低学年の実施の運営にも関わっていますが、実に手際がよかったです。校庭での開閉会式の運営、準備運動の模範演技、ゴールテープの用意、レース順の表示、着順判定後の誘導、メダルを渡す係、放送の実況とBGM、応援、道具の用意と片付けを教師に指示されることなく動いていました。「最高学年として下学年のために」という思いは今年の6年生にも受け継がれていることが伝わってきました。事前の取組として、各教室の扉や階段の掲示板にポスターが貼り出されていたことも見逃せません。『学校全体の雰囲気盛り上げよう。』と全クラスでポスターを作ろうというアイデアが実現されていました。

競技は2種目ではありましたが、子どもたちの実に伸び伸びと楽しんだり役割を果たそうとしたりする姿を観ることができました。3日めの高学年も、順延となり、仕切り直しで本日実施した低学年も、子どもたちの歓声が響き渡り、充実した3日間になりました。保護者や地域の皆様への公開ができなかったことは申し訳なく思っておりますが、何卒ご容赦ください。

緊急事態宣言も解除になり、11月に延期していた5、6年生の宿泊行事、1・2年生の学年遠足も良き学び、良き思い出となるよう実施して参ります。

なお、基本的な感染対策は今後も継続いたしますので、引き続きご協力をお願いいたします。



接戦となった大玉送りは大盛り上がりでした。秋の日差しの下、赤も白も元気いっぱいに楽しみました。